情報連絡員だより

業況にバラツキあるも、全体的に停滞感漂う

12月の業界WEATHER

全業種平均　前年同月比

概況

自動車関連において、引き続きリコール問題が悪影響を及ぼしている一方で、サービス業において、13か月ぶりに晴れ間が差したことが目を引く。天候の安定による温泉旅館の入込客数増加や、不動産取引における消費税増税前の駆け込み需要発生が要因。業種によりバラツキがあるものの、全体的に停滞感が漂う。

製造業	食料品		菓子は、売上は前年並みであるが原材料価格の高騰により収益減少。パンは、前年並みに推移。製麺は、小麦粉・そば粉など原材料値上げを販売価格に転嫁できず厳しい状況が続く。酒造は、普通酒の売上の落ち込みが大きく売上・収益ともに減少。食肉は、と畜頭数は増加しているものの取引相場の低迷を受け売上減少。
	繊維・同製品		桐生織物は、婦人服地・輸出向けは前年並みに推移、和装織物は夏物展示会での発注増に期待。伊勢崎織物は、和装織物の需要が低迷するも広巾織物の売上が引き続き順調にて前年並みに推移。ニットは、冬物の出荷を終え春夏物のサンプルづくりに着手。繊維製品は、暖冬の影響により防寒衣料関係を中心に売上減少。
	窯業・土石製品		コンクリートブロックは、天候に恵まれたことで出荷順調となり売上増加。生コンは、吾妻地域など好調な地域がある一方、多くの地域で前年を下回る。コンクリート製品は、地域間格差がみられるものの、全体として前年並みの売上となる。砕石は、八ッ場ダム関係で吾妻地域は好調となっているが、全体としては悪化。
	機械・金属		自動車関連は、全体的に売上・収益ともに前年水準を維持するも、米中貿易摩擦の影響を懸念。ＳＵＢＡＲＵ関連は、一連のリコール問題により減産が続いてるが、海外での新車生産増が明るい話題。鍍金は、業況が横ばいに推移。電機関連は、ロボット産業向けで好調、医療機器関連が先進国の高齢化を受け需要拡大。
	その他の製造業		ゴム製品は、ＳＵＢＡＲＵ関連の自動車部品の生産減少が響き売上・収益ともに減少。木材は、原木の仕入単価上昇と出荷量減少による設備操業度低下で業況に明るさみられず。紙加工品は、原紙値上げによる駆け込み需要によりやや売上増加。印刷は、年末受注が増加し売上増加、元号変更や五輪関連の受注増に期待感。
非製造業	卸売業		高崎卸団地は、運送業者の運賃上昇を懸念。前橋卸団地は、前年並みの推移となる。太田卸団地は、組合員から消費税軽減税率導入に対する不安の声あり。農産物卸は、大きな動きはなく全体的に安値で推移、今後の冬野菜について先が読めない状態。水産物卸は、魚介類全般の価格高騰により買い控えが強まり売上減少。
	小売業		家電・中古車オークションともに、前年並みに推移。燃料小売は、原油価格の下落に伴い販売価格も値下がりしたが、需要の減少に歯止めがかかり前年並みの水準となる。生花小売は、天候の影響で一部正月商材が高騰。商店街は、暖冬の影響で冬物商品の動きが悪化、一部商店街ではイベントでの客足増加がみられる。
	サービス業		温泉旅館は、天候が安定したことで多くの地域で入込客数の増加がみられる。安中市域における不動産取引は、平成31年10月に控えた消費税増税に伴う駆け込み需要が発生したことにより売上・収益ともに増加し業況好転。自動車整備・建築設計は、売上・収益ともに前年並みに推移している状況。
	建設業		建設工事は、前年並みに推移。解体工事は、引き続きホテル改修・ブロック塀解体工事などの受注があり好調維持。電気工事は、全体的に安定した受注により業績は改善傾向。塗装工事は、月前半は好調であったが後半に受注が伸び悩み売上若干減少。鉄構は、工場稼働率は高水準だが、図面遅れ・工期遅れが続いている。
	運輸業		食料品関係を中心に一部で車両不足がみられたが、全体では荷動きは低調に推移、燃料価格の下落を引き続き注視している状況。野菜関連輸送は、前年並みの推移となる。小口配送は、中旬以降に遠方輸送の依頼が増加したものの全体的には売上減少、医薬品ＰＥＴは若干増加、建築資材関係で大幅な減少となる。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

●鉱工業生産指数(季節調整値)　113.3(前月比▲5.7%)「県統計課・11月」
●住宅着工戸数　1,198戸(前年同月比+6.5%)「県建築住宅課・11月」
●求人倍率(季節調整値)　新規2.75倍:有効1.78倍「群馬労働局・11月」
●大型小売店販売額　201億円(前年同月比▲1.6%)「経済産業省・11月」
●消費者物価指数(全国)　101.8(前年同月比+0.8%)「総務省統計局・11月」
〈鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数〉